

令和4年度 活動紹介票

団体名	特定非営利活動法人東北岩手応援チャンネル	代表者 職・氏名	理事長 出淵晴彦
住所	東京都目黒区鷹番2-21-11プラザ鷹番407	電話	070-5570-0978

事業内容

助成区分	復興枠		
事業名称	三陸歌声喫茶キャラバン		
主な活動地域	盛岡市・宮古市田老・大槌町・釜石市		
取組概要	目的	生演奏バンドで歌い、踊り、皆で楽しい時間を共有する。カラオケでは得られないコミュニケーションの取り方が可能であり、それによって地域住民同士の交流が活発になり、コミュニティ再生ツールとして“音楽のチカラ”を用いた事業が「心の復興事業」のみならず、独居高齢者たちの引き籠もり、孤独死の発生を防ぐ重要な活動へと繋がっていく。将来的には当法人の活動が県内での先駆けとなり、他団体にも同様な活動を促せるように啓蒙していきたい。それによって県内全体での地域活性化が図れるものになっていく。	
	内容	7月23日 大槌町 安渡公民館、おしゃっちにて歌声喫茶各1回開催。 9月24日 宮古市 道の駅たろう内てくてくにて歌声喫茶2回開催。 9月25日 宮古市 田老第28分団屯所、三王自治会研修センターにて歌声喫茶各1回開催。 10月22日 盛岡市 南青山アパート集会所にて歌声喫茶2回開催。 10月23日 大槌町 大ケロ多目的集会所、チャリカフェにて歌声喫茶各1回開催。 11月12日 盛岡市 南青山アパート集会所にて歌声喫茶2回開催。 2月5日 盛岡市 南青山アパート集会所にて歌声喫茶2回開催。 2月12日 釜石市 鶴住居生活応援センターにて歌声喫茶2回開催。 2月19日 釜石市 両石アパート、根浜レストハウスにて歌声喫茶各1回開催。 3月に掛けて記録映像編集作業及びDVDにデータ焼き付けし関係各部署に提出。	
	成果 (将来計画)	【波及的効果】 1 コロナ禍以降、3年間で1回も集会所でのイベントが開催できなかった自治会の「はじめの一步」的なイベントの役割を担うことが数回あった。 2 大槌町では以前から取り組んでいた「校歌保存事業」の一環として歌声喫茶で校歌を住民たちが歌い、歌だけでなく思い出話にも花が咲き、地元愛の再燃と共に地域活性化に繋がった。 3 地元高校生や学生ボランティアが自ら参加して住民たちと一緒に歌ったり、若者たちの歌を披露することで、高齢者皆が非常に嬉しそうな笑顔を振りまいてくれた。さらに世代間交流の場にも繋がった。 4 演奏に合わせて歌ってもらうだけでなく、アンチエイジングに役立つような身体の動かし方をアドバイスしたり、脳トレで楽しんでもらい健康づくりへの力添えにも成り得た。  【将来計画】 1 ボランティア募集対象の中心だった大学生に加えて、今後は「マイプロ」「探究学習」に力を入れている地元高校の担当者たちと協働で「音楽を学習テーマにしている高校生ボランティア」の積極的な参画を促していく下地づくりが見えてきたのでさらに進めていく。 2 音楽だけでなく映像に興味がある学生にも参加してもらい、より被災者の自発的な参加を促し、同時に世代間交流を深めていけるようにする。 3 当事業は継続していくうちに徐々に社会福祉関連の色合いも持つようになってきているので、福祉関連助成事業などのカテゴリーでも活動を推進していく。	
	事業費(千円)	2,208千円(うち補助金 1,986千円)	

